

**広島県農業分野における新たな就労確保事業公募型プロポーザル
選定委員会（第２回）議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 4 月 8 日（火）から 4 月 11 日（金）まで
2	場 所	書類審査のため、各委員に持ち回り
3	出席委員	障害者支援課自立支援担当監、障害者支援課長、疾病対策課長、農林水産総務課長、特別支援教育課長
4	議 題	令和 7 年度広島県農業分野における新たな就労確保事業業務公募型プロポーザルの最優秀提案者の決定に関する審査について
5	担当部署	健康福祉局 障害者支援課
6	開催方法	持ち回り
7	議事内容	審査は提出された提案書の内容により、各選定委員が評価基準に基づき、審査表に基づき採点した。 各委員の審査表の評価値合計を集計した結果、評価基準に定める要件を満たし、配点の 69.2%に当たる総合値を得た「一般社団法人広島県農業会議」を最優秀提案者として決定した。 なお、次のとおり委員から評価・選定理由を確認した。 【一般社団法人広島県農業会議】 ・現在の農福連携コーディネーターやアドバイザーを複数配置するなど、当該事業の継続性を維持しつつ、農業委員会ネットワークの活用といった農業分野における専門性を発揮する提案となっており、本県における農福連携の推進や工賃向上が十分に期待できる。 ・1 者のため他と比較して評価することが出来ないが、仕様で求めている事項は押さえられていること、また多様なアドバイザーの確保が見込まれることを評価する。 ・類似事業において実績のあるアドバイザーを配置しており、効果的なマッチング等が期待できる。 ・雇用就労者数実績が減少傾向にあることは気になるが、基本方針、実施体制、提案内容等については、概ね妥当であると考えられることから、事業者として評価できると考える。 ・農業者のニーズ把握について、より幅広い情報収集となるよう地域の実情に精通しているアドバイザーを通じた意見聴取なども検討してはどうか。 ・情報発信について、より効果的かつタイムリーに行うためにも SNS を活用した情報発信等も検討してはどうか。